国際物流管理士資格認定講座について

（公社）日本ロジスティクスシステム協会（JILS）
国際物流管理士資格認定講座　担当　中川綾子

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

目次：

1. 講座の概要
2. 開催概要（2026年度・第48期）
3. 資格取得者の声
4. オンライン+集合開催の特色
5. オンライン講義のイメージ
6. 資格認定について
7. 助成金の活用について
8. （お願い）受講者環境の整備
9. お問い合わせ先

1．講座の概要

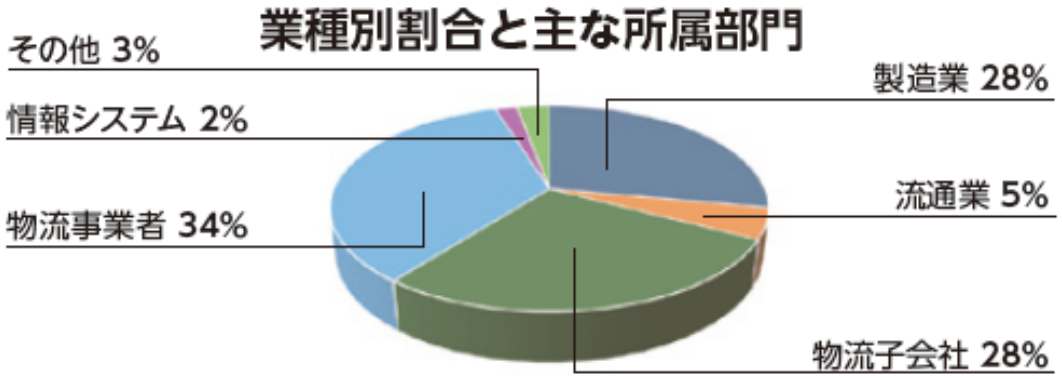
公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

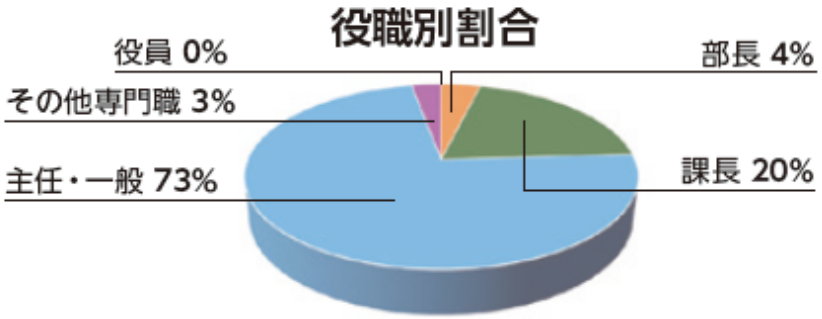
本講座は、国際物流のスペシャリスト育成講座として、1979年の開講以来、
1,702名の「国際物流管理士」を輩出しています。

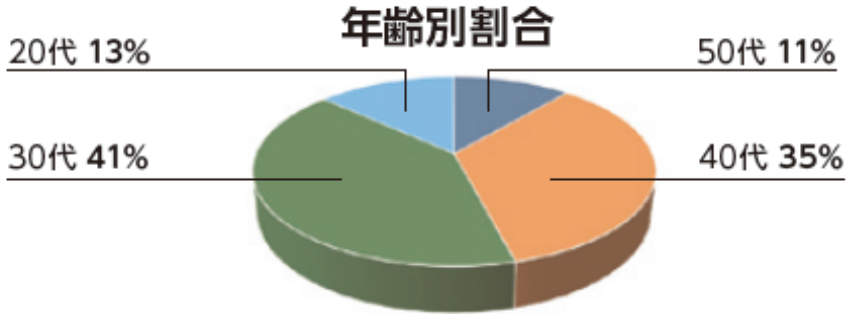
項目	概要
名称	国際物流管理士資格認定講座
対象	国際物流のスペシャリストを志向する方、 国際物流に携わる中堅管理者・担当者
講座の特徴	国際物流の第一線で活躍している実務家やコンサルタント、学識経験者からなる講師陣から、国際物流のスペシャリストに必要な専門知識やマネジメント技術を体系的かつ総合的に学ぶことができます。
資格	講座を修了し、所定の試験に合格した方には、 「国際物流管理士」の資格を授与します。
日程	第49期：2027年9月～2028年3月（全9単元・講義18日間）
受講料（税込）	JILS会員：484,000円、会員外：605,000円 ※有資格者割引有 ■単元聴講も可能です。（第1・9単元を除く）※単元価格の設定あり
後援（予定）	経済産業省・国土交通省

1．講座の概要（受講者の属性）

本講座は、国際物流に携わる様々な立場の方が受講しています。
交流を通じて、国際物流の多様性を理解することができます。

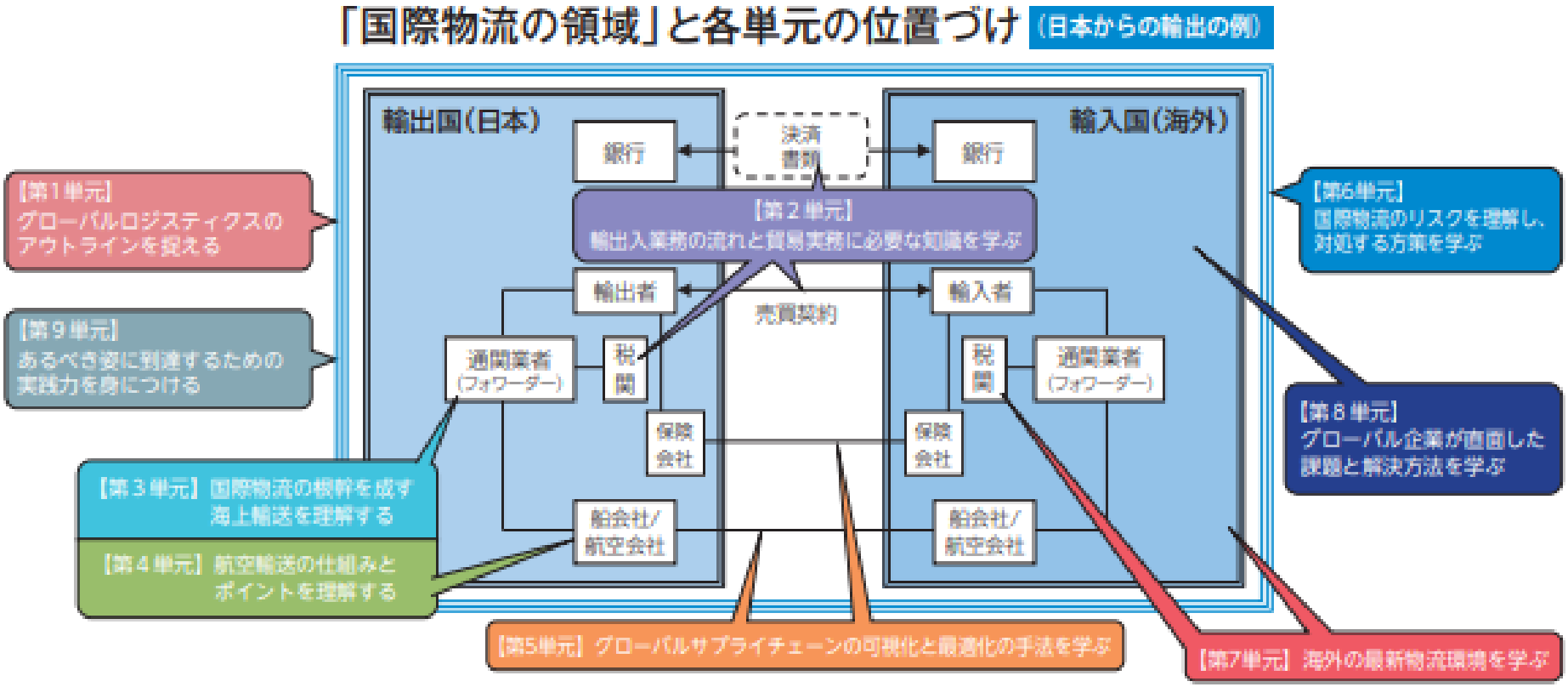






2．開催概要（講座の体系）

「国際物流管理士資格認定講座」では、国際物流をリードする人材に必要な知識を体系立てて学びます。



2．開催概要（第48期・前半）

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会 JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

前半の単元では、国際物流に関する基本知識を習得します。
グループ討議を通じて、多面的な捉え方を理解します。

単元	テーマ	日程
1	• グローバルロジスティクス概論 • グループ討議（キックオフ）	9/9（水） ※東京会場にて集合
2	• 貿易の基本、FTA・EPA・経済安全保障、通関 • 輸出入業務、貿易実務 • インコタームズ、ウィーン売買条約等	9/10（木） 9/15（火） 9/16（水） ※9/10は集合
3	• 海上輸送概論 • 各プレイヤーの役割、実務	10/6（火） 10/7（水）
4	• 航空輸送概論 • 航空輸送の実務	10/13（火）
現地見学	• 物流施設の見学（港湾・集合） • 物流施設の見学（航空・オンライン）	10/21（水） 10/28（水）
5	• サプライチェーン可視化、最適化の手法 • サードパーティロジスティクス（３PL） • グループ討議	10/14（水） 11/ 4（水） 11/ 5（木） ※下2日程は東京会場にて集合

2．開催概要（第48期・後半）

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

後半の単元では、国際物流に関する応用知識を習得します。
最新動向を把握し、ケーススタディを通じて実践力を身につけます。

単元	テーマ	日程
6	• 国際物流におけるリスクマネジメント • BCP、ロスプリベンション、貨物海上保険	11/12（木） 11/13（金）
7	• 海外最新物流事情 （米国、インド、欧州、中国、ASEAN）	12/ 9（水） 12/10（木）
8	• 海外現地での改善活動、駐在員の役割と心得 • 企業事例（テクノロジートレンド、外食・アパレル・自動車のグローバルSCM） • 海外駐在経験者による座談会	2027年 1/13（水） 1/14（木）
9	• グローバルロジスティクス改革 （ケーススタディ）	2/ 3（水） 2/ 4（木） ※東京会場にて集合
―	資格認定証授与式	3/12（金） ※東京会場にて集合

3．資格取得者の声

本講座は、企業の国際物流をリードする実務家が集い、基礎から応用までを体系的に学びながら、人的交流を深める研鑽の場として活用されています。
ホームページにて資格取得者インタビュー記事を公開しております。
https://www1.logistics.or.jp/overview/pass_voice/

「学び直し」「アップデート」で視座を高める、多様な「仲間」との貴重な出会いに感謝

国際物流業務に携わるアサヒロジ株式会社の宗像雄司氏に、「国際物流管理士資格認定講座」内容や受講のメリット、その後のキャリアへの活用方法などについてお話を伺いました。

アサヒロジ株式会社
通関部 担当部長 兼 東京通関事務所 所長 宗像 雄司

国際物流管理士資格認定講座
第44期（2021年9月～2022年3月）受講



国際物流の全体像を学び「奥深さ」を実感。サプライチェーンの重要性も認識新たに

当協会の「国際物流管理士資格認定講座」を5年前に受講した株式会社OCSの長田一槻氏に、講座の内容や受講のメリット、その後のキャリアへの活用方法などについてお話を伺いました。

株式会社OCS
グローバル本社機能 事業推進チーム 長田 一槻

国際物流管理士資格認定講座
第44期（2021年9月～2022年3月）受講



4．「オンライン＋集合」開催の特色

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会 JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

本講座は「オンライン＋集合」で開催します。
講義はオンライン、演習指導は集合開催です。

運営事務局が常駐し、円滑な受講や人脈形成をサポート対応いたします。

【オンライン研修】

・オンラインでは、会場やオフィス以外からの場所（テレワーク中の自宅等）から受講することができます。また会期中に異動された場合でも受講を継続しやすくなります。

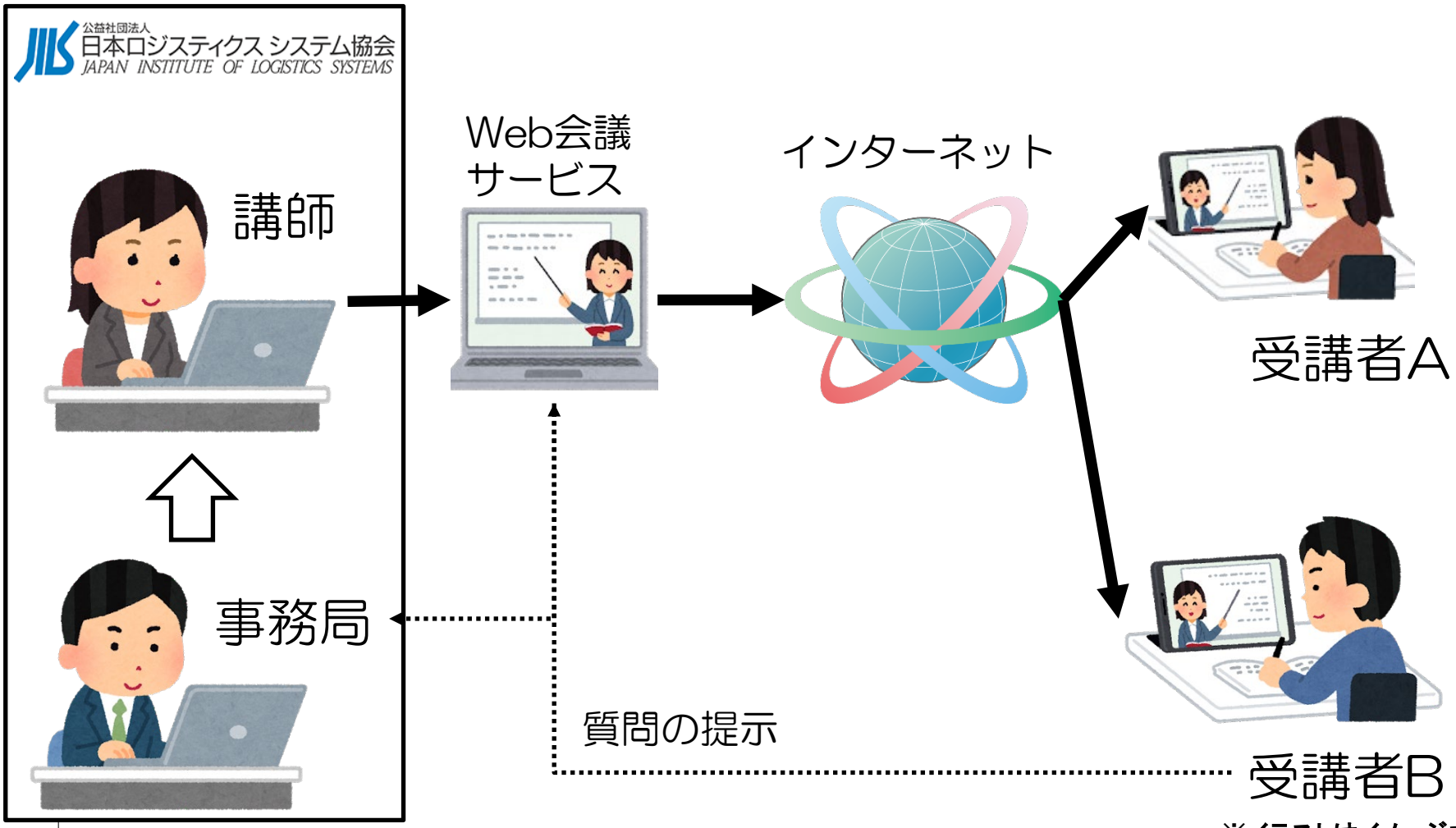
・講義の双方向性に留意し、その場の質問やコメントを受講者間で共有することで、新たな気づき、受講者が主体的に講義に参加できる環境を整備します。

【集合研修】

演習指導・グループワークは、JILS研修室（東京都港区海岸1-15-1）で開催します。経験豊富な講師による指導を受け、5名ほどのグループで議論いただきますが、発表・質疑を通じて学びと交流を深めます。

5．講義イメージ（オンライン）

Web会議サービスを通じて、講義内容をライブ配信します。
受講者からの質問は、チャット（文字入力）等で受けつけます。



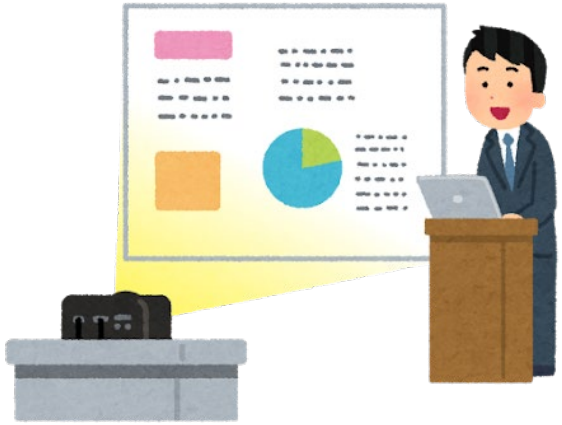
※イラストはイメージです。

5．講義イメージ（集合）

グループ討議を行い、各グループが全体へ成果を発表します。
他グループとの質疑応答や講師からの講評を通じて、国際物流に関する知見をさらに深めていきます。



グループ討議



全体発表

※イラストはイメージです。

6．資格認定について（1）

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会 JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

講座を修了し、合格基準を満たすと、日本ロジスティクスシステム協会（JILS）より、「国際物流管理士」の資格を授与します。

【参考：JILSの資格認定制度】

	名称	概要
階層別	ロジスティクス経営士	経営の視点からロジスティクスを捉え、改革を推進することができるCLO（Chief Logistics Officer）
	物流技術管理士	物流・ロジスティクスの専門知識や管理技術を有し、物流品質向上、物流効率化、コストダウン等を実現できるロジスティクスのプロフェッショナル
	物流技術管理士補	物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を有し、実務への応用の仕方を習得している次世代のロジスティクス・プロフェッショナル
テーマ別	国際物流管理士	国際物流の専門知識を有し、グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画し、実践することができる国際物流のプロフェッショナル
	物流現場改善士	物流現場の現状を把握し、課題を解決するために定量データをもとに改善実行計画を立案し、メンバーと協力しあいながら改善を推進することができる物流現場の改善リーダー

6．資格認定について（2）

４つの【修了基準】を満たしたうえで、２つの【合格基準】を満たすことを目標として、講座受講を進めて頂きます。

【修了基準】１）～４）全てを満たすこと

１）１４日以上の出席

２）客観試験の受験

３）レポート試験（５回）の受験

４）第９単元（ケーススタディ）の出席（２日間）

【合格基準】１）～２）いずれも満たすこと

１）客観試験及び各レポート試験が７０点以上

２）（欠席減点を加味した）総平均点が７０点以上

7．助成金の活用について

計画的な人材育成を国が支援

厚生労働省「人材開発支援助成金」

企業が従業員に仕事に必要な知識や技能を学ばせる際、研修費用などの一部を助成する制度です。

雇用保険に加入する従業員の研修などが対象、中小企業も大企業も、要件に応じて利用できます。

7．助成金の活用について

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

正規雇用労働者等に「人材育成訓練」を実施する場合、通常の助成内容は次のとおりです。

支援内容	中小企業	中小企業以外
経費助成	助成対象経費の45%	助成対象経費の30%
賃金助成	1人1時間あたり800円	1人1時間あたり400円

例えば、中小企業で受講料30万円が全額助成対象となる場合、通常の経費助成は13万5,000円です。助成後の経費負担は16万5,000円です。
要件を満たせば、訓練時間に応じた賃金助成も受けられます。

※助成額には上限があり、企業規模・対象者・訓練内容などで条件が異なります。
eラーニング・通信制は経費助成のみです。

7．助成金の活用について

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

くわしくは協会や厚生労働省のホームページをご覧ください。

関連リンク

限られた予算でも人材育成を進めるために、知っておきたい助成金活用

人材育成支援コースのご案内（リーフレット）

厚生労働省の制度案内

都道府県労働局の相談窓口

8．（お願い）受講者環境の整備

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

受講にあたってはインターネットを利用できる環境をご用意ください。
Web会議サービスは、「Zoomミーティング」を利用します。

項目	概要
受講環境整備 （受講環境）	講義に集中できる物理的環境（会議室、在宅勤務等）の確保をお願いします。
受講環境整備 （ハードウェア）	• パソコン、マイク、イヤホン、Webカメラ、インターネット環境 ※グループ討議等では、マイク、Webカメラを利用します。 ※通常の講義でもWebカメラONを励行します。
受講環境整備 （ソフトウェア）	• Zoomクライアントのインストール • MS-Office（パワーポイント、エクセル、ワード） ※MS-Officeは、グループ討議（発表資料作成）で利用します。
禁止事項	資格認定講座の受講は、受講者当人に限定します。 ※配信コンテンツ、電子テキストの閲覧は受講者当人のみとしてください。 ※代理出席は認めていません。
その他	・講座運営は、講座パンフレットに準拠して行います。 ・「受講規約（「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」）への同意が受講の前提となります。

9．お問い合わせ先

詳細は当協会ホームページにてご確認ください。
受講に関する不明点等は、気軽にお問い合わせください。
メール：ilm@logistics.or.jp

【国際物流管理士資格認定講座ホームページ】





■閉会（ご連絡事項）

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

- 本日のオンライン公開講義は以上で終了となります。
- 次回の説明会は、5月～6月ごろに予定しています。
- JILSの各種事業へのご参加、お待ちしております。

